

【プレスリリース】思考促進型防災・減災教育用教材「減災アクションカードゲーム」の開発と普及

[Topics] 2016年02月26日

[大学広報課プレスリリースサイトへのリンク](#)

文部科学省博士課程教育リーディングプログラム複合領域型（安全安心）「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム（以下、G-Safety）」※1の大学院生らが、災害時にはこども達自身で「いのちを守る行動」をとって欲しいとの思いで、ゲーム形式を取り入れた防災・減災教育用教材「減災アクションカードゲーム」を完成させました。本教材は、2015年3月の国連防災世界会議で公開し、以後、地域で普及活動を実施する中で、教材として入手希望の問い合わせが多数寄せられました。

こうした声に、東北大学生協同組合（以下、東北大生協）が、商品化することでこたえることになりました。震災から5年を機に、東日本大震災で大きな被害をもたらした地震および津波に焦点を当てた態様で商品化を進め、「東北大学記念グッズ」として「減災アクションカードゲーム 地震・津波編」を2016年3月10日に販売開始予定です。

「減災アクションカードゲーム」※2は、災害時の行動について、①問題文を読む、②答えの行動を示す絵札を3秒以内にとる、③その行動について30秒で説明することで、災害時にいのちを守るための「とっさの判断」を「自分で考える」ことを学ぶ教材です。G-Safetyプログラムの学生自主企画活動の一環として、災害科学国際研究所などの教員の指導、監修のもとに2014年度に児童向け思考促進型防災教育教材として5名の学生が開発を始め、2015年度には7名の学生が地域で普及活動を行なうとともに、教材としての評価を行なってきました。さらに、問題文に工夫を加えることで、海外から日本に来た留学生向けの安全教育での活用も始めています。

※1 G-Safetyプログラムには東北大学内の災害科学国際研究所など12部局23専攻が参画しており、東北大学学位プログラム推進機構リーディングプログラム部門グローバル安全学教育研究センターにて実施しています。

※2 「減災アクションカードゲーム」は東北大学の登録商標です。

詳細はWEB<<http://www.g-safety.tohoku.ac.jp/dmac/>>よりご確認頂けます。

2016年3月24日（木）に、災害科学国際研究所内にて「減災アクションカードゲーム」を用いた防災授業の体験会を実施します。是非、ご取材いただきますようお願い申し上げます。ご取材希望の方は、末尾のFAXシートにてお申し込みください

<防災授業の実施概要>

- ・日時： 2015年3月24日（木）
10：00～10：30, 13:00～14:00
- ・場所： 東北大学災害科学国際研究所
- ・内容： 減災アクションカードゲーム体験

・対象： 国内外の高校生（英語による実施）

※教材開発者への取材も可能です。

<本学学生による体験会>

・日時： 2016年3月16日（水）14:30～15:30

・場所： 東北大学川内北キャンパス

附属図書館2階 グローバル学習室

・対象： 東北大学学生（外国人留学生も参加可能）

※教材内容に関する取材には対応できません。

■教材内容に関する問い合わせ先：

文部科学省博士課程教育リーディングプログラム

「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」

担当 久利（災害科学国際研究所・講師）

電話 022-795-4923

E-mail gs-koho*grp.tohoku.ac.jp（*を@に置き換えてください）

WEB <http://www.g-safety.tohoku.ac.jp/dmac/>

■取材に関する問い合わせ先：

東北大学災害科学国際研究所広報室（3月24日）

担当 中鉢・鈴木

電話 022-752-2049

FAX 022-752-2013

E-mail koho-office*irides.tohoku.ac.jp（*を@に置き換えてください）

東北大学高度教養教育学生支援機構（3月16日）

グローバルラーニングセンター

担当 島崎・田口

電話 022-795-3749

E-mail k.shimasaki*m.tohoku.ac.jp（*を@に置き換えてください）

WEB <http://www.insc.tohoku.ac.jp/>

■販売に関する問い合わせ先：

東北大学生協生活協同組合

担当 熊谷

電話 022-264-0706

FAX 022-216-2154



思考促進型防災・減災教育用教材「減災アクションカードゲーム」の開発と普及

2016年2月26日 11:00 | プレスリリース

文部科学省博士課程教育リーディングプログラム複合領域型（安全安心）「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム（以下、G-Safety）」^{*1}の大学院生らが、災害時にはこども達自身で「いのちを守る行動」をとって欲しいとの思いで、ゲーム形式を取り入れた防災・減災教育用教材「減災アクションカードゲーム」を完成させました。本教材は、2015年3月の国連防災世界会議で公開し、以後、地域で普及活動を実施する中で、教材として入手希望の問い合わせが多数寄せられました。

こうした声に、東北大学生協同組合（以下、東北大生協）が、商品化することでこたえることになりました。震災から5年を機に、東日本大震災で大きな被害をもたらした地震および津波に焦点を当てた態様で商品化を進め、「東北大学記念グッズ」として「減災アクションカードゲーム 地震・津波編」を2016年3月10日に販売開始予定です。

「減災アクションカードゲーム」^{*2}は、災害時の行動について、①問題文を読む、②答えの行動を示す絵札を3秒以内にとる、③その行動について30秒で説明することで、災害時にいのちを守るための「とっさの判断」を「自分で考える」ことを学ぶ教材です。G-Safetyプログラムの学生自主企画活動の一環として、災害科学国際研究所などの教員の指導、監修のもとに2014年度に児童向け思考促進型防災教育教材として5名の学生が開発を始め、2015年度には7名の学生が地域で普及活動を行なうとともに、教材としての評価を行なってきました。さらに、問題文に工夫を加えることで、海外から日本に来た留学生向けの安全教育での活用も始めています。

^{*1}G-Safetyプログラムには東北大学内の災害科学国際研究所など12部局23専攻が参画しており、東北大学学位プログラム推進機構リーディングプログラム部門グローバル安全学教育研究センターにて実施しています。

^{*2}「減災アクションカードゲーム」は東北大学の登録商標です。

▶ [減災アクションカードゲーム \(G-Safetyウェブサイト\)](#)



防災授業の実施概要

災害科学国際研究所内にて「減災アクションカードゲーム」を用いた防災授業の体験会を実施します。

日時：2015年3月24日（木） 10:00～10:30, 13:00～14:00

場所：東北大学災害科学国際研究所

内容：減災アクションカードゲーム体験

対象：国内外の高校生（英語による実施）

本学学生による体験会

東北大学の大学間学術交流協定校である、メリーランド大学からの外国人学生15名を迎え、本学に在籍する学生と共修活動として、「留学生と学ぶ防災・減災 -減災アクションカードゲーム体験会-」を開催いたします。

日時：2016年3月16日（水） 14:30～15:30

場所：東北大学川内北キャンパス 附属図書館2階 グローバル学習室

対象：東北大学学生（グローバルリーダー育成プログラム学生優先）

[詳細 \(プレスリリース本文\)](#)

問い合わせ先

■教材内容に関する問い合わせ先

文部科学省博士課程教育リーディングプログラム
「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」

担当：久利（災害科学国際研究所・講師）

電話：022-795-4923

E-mail：gs-koho*grp.tohoku.ac.jp（*を@に置き換えてください）

■販売に関する問い合わせ先

東北大学生協同組合

担当：熊谷

電話：022-264-0706

FAX：022-216-2154

減災アクションカードゲーム

【概要】

「減災アクションカードゲーム(Disaster Mitigation Action Card Game)」は、東北大学リーディング大学院「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」受講生有志が開発したゲーム形式の思考促進型防災教育教材で、災害発生時に、自分の身を守るためにどう行動するかを考えるゲームです。

カルタのように数名で行いません。身を守るとっさの方法についての判断を競いながら、参加者同士で考えを共有することができます。災害発生時の行動を日頃から具体的に考えておくことが大切です。

【特徴】

- (1) とっさの判断
- (2) 情報の共有（答えは一つではなくたくさんあることをみんなで学び共有します）
- (3) ユニバーサルデザイン（ピクトグラムを用いており、年齢・言語にかかわらず楽しむことができます）

【役割】

- (1) ゲームマスター：ゲーム全体の進行役
- (2) サブマスター：各グループのまとめ役
- (3) プレイヤー：ゲームの挑戦者（4～7名程度）

【遊び方】

- (1) 各グループ4～7名程度のプレイヤーで、27枚（1組）のカードを囲みます。
- (2) ゲームマスターが問題文を読み上げるので、プレイヤーは危険から身を守る行動が示されたカードを3秒以内にとってください。

答えとなるカードは1枚とはかぎりません。自分がとろうと思ったカードを他の人に先にとられたら別のカードを探しましょう。

- (3) カードをとったプレイヤーは、順番に、なぜそのカードをとったか他の人に30秒で説明してください。

- (4) 説明に納得したらみんなで拍手をしましょう。拍手が得られたらポイントとなります。

【問題例：地震・津波編】

- (1) あなたは学校の教室にいます。地震が起きました。建物が大きく揺れています。さあ、どうする？

- (2) あなたは家でひとりです。大きな地震が起きました。津波警報も出ました。さあ、どうする？

- (3) あなたは台所（調理室）で料理をしています。緊急地震速報がなりました。さあ、どうする？

- (4) あなたは地下鉄にいます。つり下げられたものが揺れています。さあ、どうする？



(5) あなたは海にいます。小さな地震が起きました。
さあ、どうする?

【実践者向け講習会】

- ・サブマスター講習会：はじめの方を対象に教材の特徴、各問題の意図と解説、ファシリテーション方法について学びます（児童向け、留学生向け、それぞれ不定期で実施しています）
- ・ゲームマスター講習会（準備中）：十分な実践経験がある方を対象に、問題の作成方法、サブマスター講習会の実施について学びます

【その他】

対象：児童向け・留学生向けの問題と解説が完成しています
内容：「地震・津波編」が完成しており、「身近な災害編（風水害などを含む）」も開発中です。

【開発】

本教材はG-Safetyプログラムの自主企画活動による成果物です。

- ・2014年度「小・中学生を対象とする参加型防災学習の新教材の開発とアンケートによる効果測定」
久松明史（工学M2：1期生）・山田修司（文学M2：1期生）・渡邊俊介（理学M1：1期生）・牧野嶋文泰（工学M1：2期生）・金子亮介（工学M1：2期生）
- ・2015年度「小・中学生および留学生を対象とする総合的防災学習の新教材の開発とアンケートによる効果測定」
久松明史（工学D1：1期生）・渡邊俊介（理学M2：2期生）・金子亮介（工学M2：2期生）・大柳良介（環境D1：1期生）・石橋信治（工学M1：3期生）・安西瞳（工学M1：3期生）・富田史章（理学D1：2期生）

監修：久利美和（IRIDeS）・今村文彦（IRIDeS）・湯上浩雄（工学）

【活動の様子】

 [Facebook](#)で活動の様子を紹介しています。

Disaster Mitigation Action Card Game Earthquakes & Tsunamis

減災アクション! ~地震・津波編~ カードゲーム

WHAT IS the Disaster Mitigation Action Card Game (DMAC)?
DMAC is a game that teaches how to protect yourself from disasters. In DMAC, there are three roles, "Game-Master" as the organizer, "Sub-Master" as the facilitator, and "Player". All that's needed to play DMAC are sets of cards and at least three members: one game-master (Game-Master can perform Sub-Master's duty) and two players.

HOW TO PLAY (Two players in Japanese version)
Lay all cards face up.
1. Game-Master reads a question. Players have to choose a card within 3 seconds.
2. Let's find another card if your target has been picked by another player.
3. Please explain why you chose it to other players.
4. If everyone agrees with you, you gain one point. Everyone will stop hands.
5. Players who received the best results will be given the title of Disaster Prevention Mr./Ms. Leader.

THREE FEATURES
1. Quick Decision Making
In this game, you have to choose a card within 3 seconds. You need to judge the priorities for actions when disaster happens in order to protect yourself.
2. Sharing Risk Awareness
A natural disaster can occur on daily life. It is important to be aware of risks on your daily life. In addition, you can notice other risks than other players' selection.
3. Pictograms
The cards contain no writing. With your imagination, you can explain each card in many ways.

ゲームの流れ
1. ゲームマスターが問題文を読み出し、プレイヤーは3秒以内に自分の手元にあるカードの中から質問に答えるカードを選ぶ。
2. 自分が選んだカードが他のプレイヤーにも選ばれた場合は、もう一枚のカードを引いてみる。
3. 自分が選んだカードが他のプレイヤーにも選ばれた場合は、もう一枚のカードを引いてみる。
4. みんなが納得できたら、そのプレイヤーは1ポイントを獲得する。
5. 全員が納得できたら、ゲームは終了する。
6. 最もポイントが高かったプレイヤーは、その日の防災リーダーになる。

役割
ゲームマスター：ゲームの進行役
サブマスター：プレイヤーのサポート役
プレイヤー：ゲームの参加者

新機軸
1. 各カードには写真やイラストが描かれており、言葉だけでなく視覚からも情報を伝えることができます。
2. 各カードには、災害の種類や発生する場所、被害の範囲などが記載されています。
3. 各カードには、災害が発生した場合の対応方法が記載されています。

建築物の
1. 建築物の種類や構造が記載されています。
2. 建築物の耐震等級や耐風等級が記載されています。
3. 建築物の危険な部分や危険な状態が記載されています。

Questions
Q1. You're in a lecture room now.
Q2. An earthquake suddenly occurred.
Q3. The building is strongly shaking.
Q4. You're home on your way home.
Q5. A large earthquake occurs.
Q6. A tsunami warning was issued.

DISASTER MITIGATION ACTIONS
Primary action is to protect your body. Flying or falling objects such as bits of broken windows are very dangerous in this case. You do not have to escape outdoor because Japanese buildings are very strong against earthquakes.
After an earthquake, the possibility of a tsunami has been warned, in order to escape from tsunami risk, you need to go to a higher place as soon as you can. Be especially when you are near the sea.

Answer
DMAC questions describe specific cases like "Where you are" "What will happen" "What is the situation around you". You can design questions in many ways by choosing various cards. It is important to assume every risk clearly to explain why you take the which.

© 2015 G-Safety
G-Safety
www.g-safety.jp

<商標登録情報>

【出願番号】 商標出願2014-83082

【出願日】 平成26年(2014)10月2日

【先願権発生日】 平成26年(2014)10月2日

【公開日】 平成26年(2014)10月30日

【商標(検索用)】 減災アクションカードゲーム

【標準文字商標】 減災アクションカードゲーム

【称呼(参考情報)】 ゲンサイアクションカードゲーム ゲンサイアクションカード
ゲンサイアクション ゲンサイ アクションカードゲーム アクションカード アク
ション

【出願人】

【氏名又は名称】 国立大学法人東北大学

【住所又は居所】 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号

【代理人】

【氏名又は名称】 特許業務法人 英知国際特許事務所

【付加情報】 標準文字

【類似群コード】 09G53 11C01 24A01 24B01 26A01 26D01 41C02 41K01
41Z99 42X11

【国際分類版表示】 第10版

【区分数】 5

【商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務】

9 電子書籍 テレビゲーム用プログラム 業務用ゲームプログラム コンピュータゲー
ム用プログラム

16 印刷物

28 カードゲーム

41 書籍の提供 オンラインゲームの提供

42 テレビゲーム用プログラムの提供 業務用ゲームプログラムの提供 コンピュータ
ゲームプログラムの提供



東北大学



平成 28 年 2 月 26 日

報道機関 各位

東北大学学位プログラム推進機構リーディングプログラム部門
グローバル安全学教育研究センター
東北大学災害科学国際研究所
東北大学生協生活協同組合
東北大学高度教養教育学生支援機構
グローバルラーニングセンター

思考促進型防災・減災教育用教材
「減災アクションカードゲーム」の開発と普及
(2016 年 3 月 16 日 (木)、24 日 (木) 防災授業を実施)

文部科学省博士課程教育リーディングプログラム複合領域型 (安全安心) 「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム (以下、G-Safety)」^{※1}の大学院生らが、災害時には子ども達自身で「いのちを守る行動」をとって欲しいとの思いで、ゲーム形式を取り入れた防災・減災教育用教材「減災アクションカードゲーム」を完成させました。本教材は、2015 年 3 月の国連防災世界会議で公開し、以後、地域で普及活動を実施する中で、教材として入手希望の問い合わせが多数寄せられました。

こうした声に、東北大学生協生活協同組合 (以下、東北大生協) が、商品化することでこたえることになりました。震災から 5 年を機に、東日本大震災で大きな被害をもたらした地震および津波に焦点を当てた態様で商品化を進め、「東北大学記念グッズ」として「減災アクションカードゲーム 地震・津波編」を 2016 年 3 月 10 日に販売開始予定です。

「減災アクションカードゲーム」^{※2}は、災害時の行動について、①問題文を読む、②答えの行動を示す絵札を 3 秒以内にとる、③その行動について 30 秒で説明することで、災害時にいのちを守るための「とっさの判断」を「自分で考える」ことを学ぶ教材です。G-Safety プログラムの学生自主企画活動の一環として、災害科学国際研究所などの教員の指導、監修のもとに 2014 年度に児童向け思考促進型防災教育教材として 5 名の学生が開発を始め、2015 年度には 7 名の学生が地域で普及活動を行なうとともに、教材としての評価を行なってきました。さらに、問題文に工夫を加えることで、海外から日本に来た留学生向けの安全教育での活用も始めています。

※1 G-Safety プログラムには東北大学内の災害科学国際研究所など 12 部局 23 専攻が参画しており、東北大学学位プログラム推進機構リーディングプログラム部門グローバル安全学教育研究センターにて実施しています。

※2 「減災アクションカードゲーム」は東北大学の登録商標です。
詳細は WEB<<http://www.g-safety.tohoku.ac.jp/dmac/>>よりご確認頂けます。

このたび2016年3月24日(木)に、災害科学国際研究所内にて「減災アクションカードゲーム」を用いた防災授業の体験会を実施します。是非、ご取材いただきますようお願い申し上げます。ご取材希望の方は、末尾のFAXシートにてお申し込みください

また、2016年3月16日(木)には東北大学の大学間学術交流協定校である、メリーランド大学からの外国人学生15名を迎え、本学に在籍する学生と共修活動として、留学生と学ぶ防災・減災ー減災アクションカードゲーム体験会ーを開催いたします。こちらもご取材可能ですので、ご希望の際は、ご取材希望の方は、末尾のシートにてメールでご送付ください。



<防災授業の実施概要>

- ・日時： 2015年3月24日(木)
10:00~10:30, 13:00~14:00
- ・場所： 東北大学災害科学国際研究所
- ・内容： 減災アクションカードゲーム体験
- ・対象： 国内外の高校生(英語による実施)

※教材開発者への取材も可能です。

<本学学生による体験会>

- ・日時： 2016年3月16日(水) 14:30~15:30
- ・場所： 東北大学川内北キャンパス
附属図書館2階 グローバル学習室
- ・対象： 東北大学学生(グローバルリーダー育成プログラム学生優先)

※教材内容に関する取材には対応できません。

